

宿題が難しくてこまったとき

登場人物と設定

- ハルト 小5男。勉強にもスポーツにも自信がある。ただし、実際には成績トップという訳ではない。プライドが高く、自分ができるはずだと思っている。うまくいかないことがあると、あせってしまいがち。基本的には、友だちや弟などと仲良くやっている。
- 弟 小3男。ハルトの弟。無邪気な性格。兄弟仲はよい方で、一緒に遊ぶことも多い。ふだんは一生懸命な兄の方が褒められることが多いのだが、実は弟の方が要領がいい。
- 母 ハルトの母。今回は宿題を半端にしているハルトに注意をする。ただし、過度に教育に熱心という訳ではない。
- N ナレーション 女

1コマ目 導入 人物紹介

ハルト 行くぞー！ シュート！（サッカー）

ハルト はいーい！ 先生、ぼく、できましたー！（教室）

N 小学校5年生のハルトさんは、明るく元気な男の子。身体を動かすことが大好きで、サッカーのチームに所属しています。学校では、算数と国語に自信があり、いつも一生懸命勉強しています。ところが…

2コマ目 子ども部屋で宿題をやる兄弟

ハルト

あれ…今日の宿題…難しいな…。この問題…どうやって解くんだろう…。

N

ハルトさんは、今日出た算数の宿題に苦戦しています。とくに、文章問題が分からず、困っているようです。

弟

あれ、お兄ちゃん、まだ宿題やってるの？ いつもは早く終わるのに。いひひ、お兄ちゃんにも苦手な問題あるんだー。

ハルト

えっ、な、なんだよ。うるさいなあ…。

あー、もう、なんでできないんだろう。ぼく、算数得意なのに…。

3コマ目 ランドセルを探すハルト

ハルト

あつ、そうだ！ 今日の授業のノートに解き方を書いてたはず！ ノートを見れば、きっとできる！

…あれ、ない、ない。

あー、ノート、学校に忘れてきちゃった！ あーもう、なんで忘れちゃったんだろう。

まずい、このままじゃ宿題できないよー。

4コマ目 ゲームをやるという弟

弟

あー、ぼく、宿題終わったー。

お兄ちゃん、ゲームしようよ、ゲーム！

ハルト

え、ああ、う、うん…。

ハルトM

宿題、まだ、できてないけど…。…まあ、いつか…。

5コマ目 様子を見に来た母

SE

ガチャ（扉を開ける音）

母

あれっ！ ハルト！ まだ宿題終わってないじゃない！ ゲームは宿題が終わってから。いつもはすぐ終わらせるのに…。なんで今日はやってないの。早くやりなさい！

ハルト

う…。は、はい…。

6コマ目 さて、どうする？

ハルト

ああー、もうこんな時間になっちゃった。自分でも宿題やらなきゃって分かってるのに…。でも…なんか今日はもうやりたくないよ…。誰か…教えてくれないかなあ…。ああー、どうしよう…。

宿題 終

友だちが何も言ってくれないとき

登場人物と設定

- マナミ 小5女。アニメやマンガ、読書が好き。真面目な性格。ふだんは積極的なタイプではないが、そうした趣味のことになるとよく話す。それで目立った問題が起こったことはないが、ときに話しぶりが一方的だと思われることもある。ハルカとはずっと仲がよかったが、他に友だちは多くない。
- ハルカ 小5女。マナミと趣味が合い、ずっと仲が良かった。しかし、最近はアニメやマンガよりも、ファッションなどに興味が出てきた。そうした趣味をもつ友だちと一緒にいたいと思っている。

- ハルカの友だち（ガヤ） ファッションが好きな、クラスの中では大人びたグループ。

- N ナレーション 男

1コマ目 導入 人物紹介

マナミ あー、この本、やっぱり面白いなあ！（本を読む）

マナミ 今日のアニメ、すごいいよかった！

続き、気になるー！（アニメを見る）

N 小学校5年生のマナミさんは、アニメと読書が趣味の

女の子。みんなをひっぱるようなタイプではありません

んが、係活動や、掃除など、自分のやることをいつもし
っかりとやっています。

2コマ目 マナミとハルカの関係性

マナミ ハルカ、おはようー。

ハルカ おはよーマナミ。学校行こー。

N
マナミさんには、同じクラスに、ハルカさんという友達
がいます。マナミさんとハルカさんは、幼稚園の頃から
の友達。家も近く、お母さん同士も仲良しです。これま
で、ずっと二人で学校に通ってきました。学校でもいつ
も一緒に、休み時間には図書室に行って、本を読んだり、
お話をしたりして過ごしていました。ところが…

3コマ目 休み時間 会話が弾まない

マナミ ハルカ、昨日のアニメ、見た？ あのアニメ、やつぱり
面白いよねー。もーあんなことになるなんてー。私、も
う目がはなせなくてさー。

ハルカ ああ…、うん…。

マナミ 来週もさー、楽しみだよねー！

ハルカ

ああ…、うん。まあねー…。

N

マナミさんは、2学期の運動会が終わったあたりから、
なんだかハルカさんの様子がおかしいなと感じていま
す。二人が大好きなアニメの話をして、会話がはずみ
ません。そんなことが続いた、ある日…。

4コマ目 昇降口 下校のとき

マナミ

ハルカー、ごめーん。遅くなっちゃった。おまたせー。
帰ろ…。

ハルカと友だち

（ガヤ…ファッションやアイドルについての楽しいな
会話）

マナミ

あれ、ハルカ、他の子たちと、帰っちゃった…。なんで
…。

5コマ目 家のベッド もやもやするマナミ

マナミ

はあ…。ハルカ、最近、どうしたんだろ…。もしかして、
私に何か怒ってる？ 私、何か嫌なことしちゃったの
かな…。ああ、わかんないよ。うーん。

6 コマ目 次の日の朝 登校途中

ハルカと友だち （ガヤ..朝のあいさつ、おはよう等）

マナミ ハルカー…、あの、さ…。もしかして、何か、怒ってる？

ハルカ え、いや、別にー。

N
ハルカはそれだけ言って、他の友だちのところへ行つてしまいました。

7 コマ目 さて、どうする？

マナミ ハルカ…。なんで、ちゃんと話してくれないの…？
怒ってるなら怒ってるって言ってくればいいのに…。
これじゃ、何にもわからないよ。私、どうしたらいいの？

友だち 終